

令和7年度まちづくり住民懇談会における主な質疑概要

会場	槻木生涯学習センター
----	------------

	テーマ	発言者	質問／意見	町の考え方等
1	町政報告 主な事業の実績及び進捗状況	B	町の財政において、障害者福祉に係る費用が伸びている要因と今後も伸びていくのか。	(1) 昨年度から町内にいわゆる放課後デイサービスの事業所が増えています。事業所が増えてきていることが大きな要因となります。 (2) 来年度以降については、事業所の伸びが予測できないので、情報収集をしているところです。
		D	町の予算の執行について、監査は行っているのか。また住民に広報しているのか。	(1) 定期監査、随時監査ということで、定期的に監査を受けており、その結果は公表されています。 (2) また、国や県の補助金については、会計検査院や国・県の検査を受けています。
2	「デジタル化を見据えた 行財政適正化推進計画（案）」	B	行財政適正化推進計画によりどれだけの費用が削減できるのか。	(1) 今回の行財政適正化推進計画は経費削減というよりは業務の見直しをメインにしていますが、費用的には大体5,000万円程度の削減を見込んでいます。 (2) また、働き方改革によって、時間外勤務の縮減を期待しています。
			上下水道の図面の有料化について、年間どれだけの利用を見込んでいるか。仙台市のようにWeb上で閲覧できるようにするのか。	(1) 令和6年度の実績から概ね700件×300円で計算し、約21万円の収入を見込んでいます。 (2) Web上での閲覧は予定していません。
		経費を削減する説明はあったが、住民税や固定資産税など収入を増やす取り組みはあるか。	(1) 税収は増えています。 (2) 税収を増やす方法として企業誘致という意見もありますが、企業誘致にはコストがかかることをご理解していただきたい。	
		C	今後、オープンガーデンを具体的に何を減らし、どのように運営していくのか。また、立派なパンフレットにお金をかけるのであれば別のところに回したほうがよいのではないか。	(1) 町主催の事業から自主的な開催へ移行ということまでで、まだ詳細は決まっていません。 (2) パンフレットの作成は令和8年度を最後とします。
D	働き方改革について、職員の残業代はいくらかかっているのか。	(1) 今年度の一般会計の残業代の予算は約7,000万円です。		
3	新しい地方経済・生活環境創生 交付金（第2世代）交付金事業	—	—	—
4	社会インフラの整備等	—	—	—
5	その他（地域の課題等）	A	入間田第24行政区の消防水利の確保について、申請していた3ヶ所のうち1カ所やってもらった。残り鴻ノ巣地区と三本木地区の2カ所はいつ頃になるか。	(1) いつまでにできるのかこの場で明確に答えられませんが、入間田第24行政区の水利が必要であることは認識していますので、今しばらくお待ちいただきたいと思います。
			道路の冠水の問題について、特に柴田小学校の海老穴側、入間田側の2カ所が大雨降ると冠水する。子供たちの安心安全な通学路という意味でも早急に対応をお願いしたい。	(1) 柴田小学校前の冠水については、常習地帯ということで都市建設課でも認識をしています。 (2) まずは、入間田地区の主要排水である五間堀がしっかり流れるように冠水対策を実施します。
			町ではクマの個体数を把握しているのか。また、人身被害が出た場合の対応の仕方は。箱罌は何カ所設置しているか。	(1) 町でクマの個体数は把握していません。 (2) クマの目撃情報があった場合、猟友会や警察に立ち会っていただき、現場を確認したうえで、クマであると確証を得た場合は広報車で広報したり、近隣にポスターを貼ったり、ホームページやLINE配信等を行っています。 (3) 箱罌は、富沢に1カ所設置しています。
		D	町議会議員の定数削減が必要ではないか。 以前行政区対抗玉入れ大会があったが、コロナ禍で中止となり現在も行われていない。世代間交流や区の横のつながりを広げるうえで大事だと思うが、町で玉入れ大会を行う考えはあるか。	(1) 意見があったことを記録することにとどめます。 (2) 総合体育館ができたので、指定管理者と総合型地域スポーツクラブとの連携事業として、行政区対抗ではないが、まずは子どもの健康づくりの一環として、玉入れ大会の実施を検討しています。